



HOKKAIDO
ENVIRONMENT
FOUNDATION

理事長

大原 雅

自然を守り、環境の恵みを育み、未来へ紡いでいくために

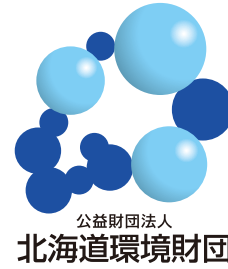
北海道は広大な森林や湿原、湖沼など豊かな自然環境に恵まれ、そこには数多くの命が育み、豊かな生物多様性を支えています。

この自然環境の恵みを楽しるとともに、私たち自身が環境との関わりを認識し、「絆」を意識することによって、細い糸が太く紡がれ、次世代が希望の持てる持続可能な社会を創り上げていかなければなりません。

子どもの役割は、北海道内の各地で環境保全に取り組む方々との学び合い、そして交流の場を設けるとともに、そこから生まれるさまざまな環境保全に関わる取り組みに対し「人」「知恵」「情報」「資金」などを提供し、支援させていただくことです。

財団設立から25年以上が経ち、取り巻く社会環境は大きく変化しました。

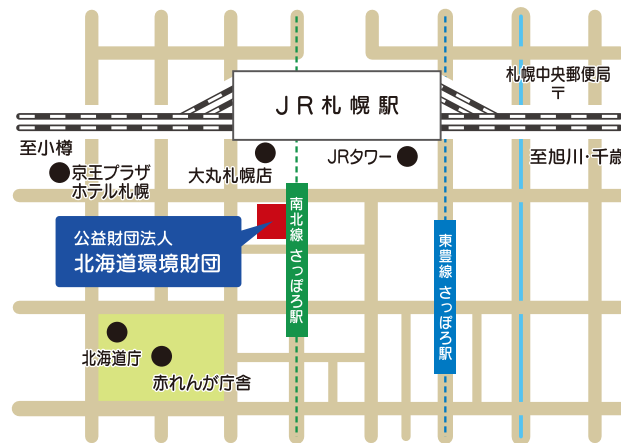
私たち北海道環境財団は、設立時の想いを大切に引き継ぎながら、シンクタンク機能を強化し、未来の北海道の針路を示すよう、これからも頼りにされる組織になるよう成長していきます。



公益財団法人
北海道環境財団

ロゴの意味

色彩は北海道を取り囲む海と空を表し、その中に私たちが暮らす雪の大地が浮かんでいます。青い丸は持続可能な社会を構成するさまざまな要素を意味し、私たちが両立と発展をめざす「環境」「社会」「経済」の3要素を立体(球)で表しています。



【交通】JR札幌駅南口から徒歩1分 ※当財団には駐車場はありません。

本部事務所・北海道環境サポートセンター

〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4階

Tel.011-218-7811 Fax.011-218-7812

office@heco-spc.or.jp

URL <https://www.heco-spc.or.jp>

環境サポートセンター直通 Tel.011-218-7881



補助事業部

〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤ビル7階

Tel.011-206-1573 Fax.011-206-1574

URL <https://www.heco-hojo.jp>

業務・開館時間 平日 10:00~18:00(土日祝日、年末年始を除く)

環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。

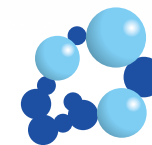
(2307)

HOKKAIDO ENVIRONMENT FOUNDATION

人と叡智を紡ぎ、 地域の未来を創造する



Illustration by KAWANO Nobuhiro



公益財団法人
北海道環境財団

「叡智」はオオバナノエンレイソウの花言葉です。

公益財団法人 北海道環境財団とは

北海道における環境の保全及び創造のために、多様な主体による環境保全活動を促進し、環境学習の機会や情報交流などのさまざまな活動の促進・支援などに取り組む公益法人です。環境・社会・経済が調和した持続可能な北海道づくりを目指して、人や地域をつなぎ、道内の環境保全活動を発展、深化させていきます。

沿革

1997年	4月	設立
1997年	10月	北海道環境サポートセンター 開設
1999年	4月	北海道地球温暖化防止活動推進センター 指定
2006年	3月	環境省北海道環境パートナーシップオフィス 業務開始
2008年	5月	環境中間支援会議・北海道 設立
2009年	4月	環境情報サイト「環境☆ナビ北海道」運用開始
2012年	4月	公益財団法人に移行・北海道環境未来基金 設立
2014年	4月	北海道生物多様性保全活動連携支援センター 指定
2016年	4月	環境省補助金執行団体 業務開始
2017年	4月	北海道地方ESD活動支援センター 業務開始

環境保全活動を情報面から支えます

当財団が参画する環境中間支援会議・北海道では、情報サイト『環境☆ナビ北海道』の運用を通して、道内の環境保全に関わる様々な情報を収集・整理・発信しています。



enavi-hokkaido.net

寄付募集活動



支援いただく皆さまからの“志金”を北海道環境未来基金として拝受し、環境保全活動支援や自主事業を展開しています。用途を指定しない一般寄付も受付中です。

主な事業

- 北海道e-水プロジェクト
- 北海道生物多様性保全活動連携支援センター
- 地球温暖化ふせぎ隊
- 辻井達一ラムサール湿地基金
- 森とアースへのECO-プロジェクト
- 北海道フロンティアキッズ育成事業 など

※ご寄付の方法についてはホームページをご覧ください。

環境保全活動の推進

さまざまなセクターが取り組む環境保全活動を「人」「知恵」「情報」「資金」などの面から支援しています。

主な事業

- 北海道環境サポートセンター
- 各種相談対応や環境保全活動の支援
- 環境保全活動に関する情報収集・提供
- 産学民官の協働事業マッチング
- 環境省北海道環境パートナーシップオフィス
- ほくくー基金北海道生物多様性保全助成制度 など

4つの柱

環境教育の推進

環境教育を受ける機会の創出や、人づくりや場づくり、プログラムや教材の開発・提供を通じて、学校教育や社会教育を支援しています。

主な事業

- 子ども向け環境教室
- 学校や地域と連携した授業等の実施
- 教員等対象の指導者育成講座
- 環境セミナー開催、地域行事出席
- JICA等の国際研修員支援 など

地球温暖化対策の推進

緩和策・適応策などの地球温暖化対策を中心に、行政や活動団体の各種支援を行うほか、国や自治体が運用する関連補助金の執行業務等を担っています。

主な事業

- 北海道地球温暖化防止活動推進センター
- 北海道地球温暖化防止活動推進員の支援
- 市町村計画策定支援、事業者の取り組み支援
- 環境省補助金執行業務
- J-クレジットの活用支援
- 北海道気候変動適応センターへの協力 など

4つの柱に取り組む各種拠点・機能

北海道環境サポートセンター

環境保全活動に取り組む皆さまを支援するために、相談対応やコーディネート、各種情報提供を行う拠点です。

北海道地球温暖化防止活動推進センター

北海道から指定を受けた地球温暖化防止活動を推進する拠点です。普及啓発や事業者、自治体の気候変動対策支援を行います。

北海道生物多様性保全活動連携支援センター

生物多様性の保全に対する理解促進や活動への支援、科学的知見の集積と提供などに取り組んでいます。



環境省補助金執行団体

環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の執行業務を通し、全国の脱炭素事業を支援しています。

※上記4拠点は、北海道環境財団内に設置しています。



環境省北海道
環境パートナーシップオフィス (EPO北海道)



北海道地方ESD活動支援センター

EPOは環境教育等促進法に基づいて設置された協働による持続可能な社会づくりの推進拠点です。ESD活動支援センターとしての役割も担っており、北海道では環境省北海道地方環境事務所と当財団が協働運営しています。

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル7階
Tel.011-596-0921 [URL https://epohok.jp](https://epohok.jp)